

真核生物由来UMPキナーゼ（組換え体）

Cat. No. CEGZ-6405

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 UMP、dUMP、および選択されたプリン／ピリミジン－リン酸に對して活性を有する、組換え中温性真核生物由来UMPキナーゼ。

用途 研究用途および中温条件下におけるUMP、dUMPならびに関連するヌクレオチド－リン酸のin vitroリン酸化用。

別名 UMPK; ウリジル酸キナーゼ; ウリジン－リン酸キナーゼ; ATP: UMPホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種 真核生物

由来 組換え大腸菌（E. coli）

形態 液体

EC番号 EC 2.7.4.22

CAS登録番号 9036-23-1

分子量 24.2 kDa

特異性 UMPおよびdUMPに對して活性を示し、GMP、dGMPおよびTMPに對する活性は低い。ATPおよびdATPは供与体として機能し得る。

基質 ATPまたはdATP; UMP; dUMP; GMP; dGMP; TMP

反応 $ATP + UMP = ADP + UDP$

備考 中温性酵素。大腸菌（E. coli）において組換えタンパク質として発現させ、His6タグを用いたアフィニティークロマトグラフィーにより精製。最適反応時間および酵素濃度は、基質により異なる場合があります。

プロトコル 70 mM Tris-HCl (pH 7.6、37°Cにて) 10 mM MgCl₂ 5 mM UMP 6 mM ATP 酵素 0.04 g/L 37°Cで一晩（オーバーナイト）

使い方 研究用およびin vitro（体外）使用のみに限定されます。

保管・発送情報

保存方法 -20°C